

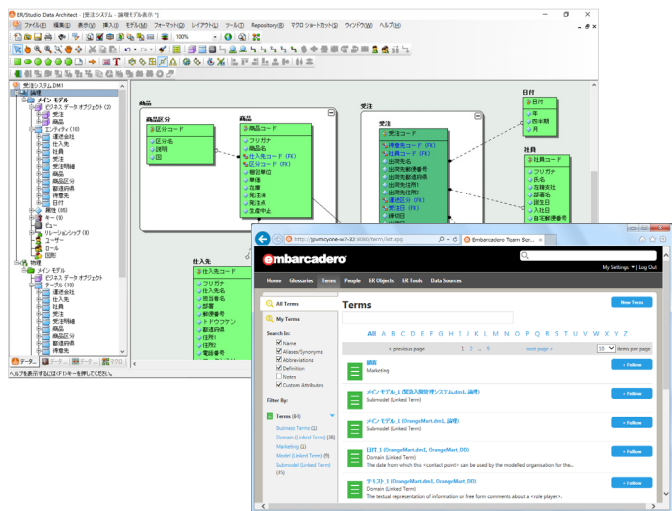


ER/Studio Enterprise Team Edition

The ultimate collaborative enterprise data architecture and modeling solution



Embarcadero ER/Studio Enterprise Team Edition は、エンタープライズスケールのデータ/メタデータリポジトリの構築・管理のための、強力なコラボレーションモデリング環境を提供します。データベースやデータウェアハウスの構造を掌握して確実なデータ設計を可能にするとともに、組織全体にわたる共有を支援。共有リポジトリにより、モデルの変更管理とタスクのトラッキングをサポート。アジャイルワークフローの活用により、データベースやアプリケーション開発におけるデータモデルに関する要求に迅速に対応できるようになります。リポジトリベースのモデル管理システムと Team Server の Web インターフェイスにより、モデル情報やメタデータに関するドキュメントを、分散したチームでも確実に共有することができます。



「ER/Studio の導入により、大規模かつ複雑なデータベースにかかわる共同作業を効率化でき、お客様のニーズに素早く対応できるようになりました。」

カタリナマーケティング
データウェアハウス/インフラストラクチャ担当副社長
Kelly Carrigan 氏

「ER/Studio を用いることで、アーキテクトと DBA の緊密なコラボレーションが実現しました。これにより、効率性が上がり、必要としていた可視化も可能になりました。」

アコレード データ管理担当副社長
Lorraine Knerr 氏

データ管理者が直面する課題

多くの企業では、毎年 25% のデータ増加に直面しており、その種類も多様化しています。それに伴い、データ管理に携わる技術者の業務は複雑化し、次のような課題の解決を迫られています。

- データ品質の向上と、管理効率の向上
- 組織全体でのデータ再利用性の最大化
- 組織全体にわたるデータに関する情報の共有

これらの問題に対処するには、大規模なデータモデルの効率的な作成とメンテナンスが可能になる、データ管理戦略を立案する必要があります。大量のデータを正確かつ効果的に使用できるようにするために、段階的な改善を進めていくことによって、企業はビジネス上の意思決定を適切かつ的確に行うことができるようになり、競争力を高めることができます。

ER/Studio は、数多くのデータアーキテクトやデータベース技術者に選択されており、データの可視化、共有、統制を強力に支援します。多様なエンタープライズデータベースのサポートに加え、Azure などのクラウドデータベース、MongoDB、Hadoop Hive、Teradata などのビッグデータにも対応。企業の多様なデータベース環境を包括的にサポートします。データベース技術者以外のユーザーとの情報共有もサポートする ER/Studio Enterprise Team Edition を用いれば、組織全体でデータに関する情報を共有でき、増大するデータの価値を最大限活かすことができます。

データやメタデータの活用を組織全体に拡張

ER/Studio は、従来のリレーショナルデータモデリングの概念を大きく変革します。モデルは、データモデラーだけでなく、ビジネスユーザーにとっても役立つものでなければなりません。ER/Studio に新たに搭載されたビジネスデータオブジェクト (BDO) のサポート機能を用いれば、製品、顧客といったような複数のエンティティとリレーションを用いたマスターデータとトランザクションコンセプトを表現できるようになりました。

ER/Studio では、名前付け標準の推進もサポートします。新たに搭載した名前付け標準のサポートにより、論理モデルと物理モデルの双方で、モデルやサブモデル、エンティティや属性に名前付け標準テンプレート (NST) を自動的にバインド可能になりました。これにより、一貫性を容易に保持できるようになります。

組織全体でビジネスグロッサリーを共有

Team Server のグロッサリー機能は、用語の共有に関して、組織全体に柔軟性と可視性をもたらします。グロッサリー階層を用いれば、特定のビジネス分野の用語を、企業の構造を反映して柔軟に定義することができます。グロッサリーの編集については、変更履歴を監査できます。

ER/Studio Enterprise Team Edition を用いれば、組織全体の生産性とデータ整合性を高め、企業標準の遵守、品質向上が可能です。

ER/Studio Enterprise Team Edition 導入のメリット

ER/Studio Enterprise Team Edition は、データ設計の効率化、品質向上に加え、企業全体におけるデータ資産の共有と利用を促進します。

- データモデリング手法を標準化し、データの再利用性向上
- ビジネスユーザーとのコミュニケーションを改善
- 複数のシステム間でのデータの一貫性、精度を向上
- 企業標準への準拠、データ統制の実行をリアルタイムで実現
- エンタープライズデータディクショナリを構築

ER/Studio Data Architect	
ユニバーサルマッピング	概念モデル、論理モデル、物理モデルのオブジェクト間をトレース可能にするマッピング
論理関連	論理モデルとそれらの実装となるそれぞれの物理設計とのマッピングを表示
ビジュアルデータリネージ	システム全体にわたるデータ移行用のソース/ターゲットのマッピングおよびソーシングルールのドキュメント化
ラウンドトリップデータベースサポート	既存のデータベースやスキーマからグラフィカルモデルを作成、モデルからスキーマを生成可能
ビジネスデータオブジェクト (BDO)	複数のエンティティとリレーションを用いたマスターデータとトランザクション概念を表現
高度な比較/マージ	論理から物理へ、物理から論理へ、物理からデータベースへといったモデルとデータベース構造の高度な双方向比較とマージ
名前付け標準	モデルやサブモデル、エンティティ、属性に名前付け標準テンプレート (NST) を自動的に適用

ER/Studio Team Server	
チームコラボレーション	アクティビティやディスカッションストリームなどの機能により、エンタープライズコラボレーションを促進。ナレッジを共有し、データ品質に関する問題の特定や解決にかかる時間を削減可能
モデルとメタデータへのアクセス	ユーザー数無制限の Web アクセスにより、組織全体でモデルとメタデータを共有
対話式のモデルイメージナビゲーター	Team Server の Web インターフェイスで、モデルイメージを対話式に表示。ズーム、検索、再配置などを利用可能
オンライン定義	統合されたデータアクセスツールや社内 Web ページで、登録されているデータ要素やビジネス用語の定義を表示
セマンティックマッピング	関連するビジネス用語をテーブル、列、エンティティ、属性などの重要なデータ要素に関連付け
エンタープライズグロッサリー	表示、分類、関連付け可能な、ビジネス用語辞書を中央リポジトリに作成、変更をトラッキング
グロッサリー階層	1 つ以上のグロッサリーを継承して子グロッサリーを作成し、組織構成に関連付けした定義が可能
データソースレジストリ	作成ないしはインポートした有効なすべてのデータソースが登録された検索可能な単一レジストリ
データソースマッピング	関係するデータソースに戻ってデータモデル変更の影響を分析可能
集中化されたレポート機能	多様な形式でレポートを作成、シェアできる 20 以上のレポートおよびレポートウィザードを搭載
高度な検索	データオブジェクト、データソース、グロッサリー、用語の検索およびフィルターが可能

Repository	
Team Server の統合データベース	Team Server および Repository でデータベースを共有利用。これにより、モデルストレージの配置と運用を簡素化
モデルやオブジェクトへの同時アクセス	複数のモデラーによるデータモデル作業を、モデルオブジェクトレベルまでリアルタイムでコラボレーション可能
変更のレビューとユーザー矛盾の解決	Repository を共有している他のユーザーと同時に生じた変更の差異を検出し、シンプルかつインテリジェントなインターフェイスによりその矛盾を解決
バージョン管理	モデルの個別の履歴を管理。モデルオブジェクトの段階的な比較、ロールバックをサポート
コンポーネントの共有と再利用	あらかじめ定義されたエンタープライズデータディクショナリにより、データの冗長性を排除し、データ要素の標準を強制
セキュリティセンターグループ	ローカルまたは LDAP グループによるセキュリティ管理を効率化。生産性向上とエラー削減が可能
アジャイル変更管理	データモデルに関連付けてタスクを割り当て、トラッキング可能

Business Architect	
概念モデルの作成	サブジェクトエリア、ビジネスエンティティ、インタラクション、リレーションシップなどの要素を使用したハイレベル概念モデリングをサポート
プロセスモデルの作成	シーケンス、タスク、スイムレーン、開始イベント、ゲートウェイなどの標準的な要素を使用する直感的なプロセスモデリングのサポート

Software Architect	
モデルドリブンアーキテクチャ・標準	UML 2.0 (Unified Modeling Language)、XMI (XML Metadata Interchange)、QVT (Query / Views / Transformations)、OCL (Object Constraint Language) をサポート
モデルパターン	業界標準パターンのサポートにより、設計作業を飛躍的にスピードアップ

MetaWizard	
インポートブリッジ	BI、ETL、他のモデリングツール、業界標準のメタデータ交換形式のインポートをサポート
エクスポートブリッジ	BI、ETL、他のモデリングツール、XMI、XML、XSD といった業界標準のメタデータ交換形式に変換

Data Lineage	
データリネージの可視化	外部の ETL (Extract-Transform-Load) ツールや DI (Data Integration) ツールを用いて設計したソース/ターゲットのマッピングとルールを可視化
ETL/DI ツールの統合	主要な ETL/DI ツールからマッピング要求情報をリネージモデルにインポート

ER/Studio の無料トライアル版は www.embarcadero.com/jp/downloads からダウンロードいただけます！